

愛の便り

校訓: 志が人生を創る

雲仙市立愛野中学校 学校便り

令和7年 1月22日

第111号 (通巻)

文責 (校長; 末永栄喜)



◆バスケ女子 (西海杯) 12/29

【1日目】予選リーグ (2試合)

○吾妻・愛野 54対32 日野

●吾妻・愛野 27対78 FALCONS (U14)

○吾妻・愛野 38対37 ASTERISK

【2日目】1, 2位トーナメント

●吾妻・愛野 43対57 Glanz (1回戦敗退)

●吾妻・愛野 35対59 PRIDE ONE

●吾妻・愛野 44対59 CREW



◆バスケ男子 (第46回オレンジカップ) 1/4, 5

【1日目】予選リーグ (2試合)

●愛野 29対50 有明

●愛野 14対94 玉名

【2日目】3位交流戦

○愛野 32対25 加津佐

○愛野 51対25 島原第二



◆バレー女子 (島原市協会長杯) 1/11, 12

【1日目】予選リーグ

○吾妻・愛野 2対0 加津佐・南有馬・北有馬

●吾妻・愛野 0対2 琴海クラブ

○吾妻・愛野 2対0 三会 ※2勝1敗で決勝Tへ

【2日目】決勝トーナメント1, 2位の部

○1回戦 吾妻・愛野 2対1 南串

●2回戦 吾妻・愛野 0対2 島原第二



◆卓球 (第18回島原半島中学校対抗大会) 1/19

中学2年男子団体 第3位



※テクノボー (木偶の坊)

1 人形。あやつり人形。

2 役に立たない人。気が利かない人。

人のいいなりにになっている人。

三寒四温が待ち遠しい!

3学期が始まって早くも2週間が過ぎました。日中は穏やかな日が続いていますが、来週は再び寒波の襲来で本来の寒さが戻ってきそうです。

28日(火)はいよいよ公立高校の特別選抜検査があり、本校からも12名が挑みます。くれぐれも体調管理には気をつけてほしいところです。日々の教育活動も着実に進んでおり、子どもたちも「まとめと準備の学期」を意識しながらがんばっています。

そんな中、先週の職員会議での議題は「卒業式」と「次年度の教育課程(学校暦)」についてでした。早くも、学校での最大の行事に向けた準備や来年度の計画立案への着手が始まったということです。この二つから、本校職員にとってもまさに「まとめと準備の学期」と言えそうです。

さて、狸、タヌキ、他抜き、...。「受験戦争」という言葉はもはや死語になっていますが、現実的にはやはり受験は競争。他との競争に勝った人しか合格できません。かといって、必要以上に気負ったり神経質になったりする必要はありません。他抜きの「他」を自分の中の弱い心に置き換えて考えてみてはいかがでしょうか。

少々眠くても、きつくても、...。テレビやゲームの誘惑に負けそうになっても、...。自分に負けるな、己に打ち克つんだ。あと少し、あと少しだから踏ん張れる。



人として どう生きる!?

次の詩、どこかで聞き覚えがありませんか。そうです。あの宮沢賢治の「雨ニモマケズ、。」の詩をパロディ版として書き換えたものです。作者は不詳ですが、賢治の詩と読み比べると詩の重みとその主訴が伝わってくる気がします。

雨にも負け 風にも負け
 雪にも夏の暑さにも へこたれてしまう
 弱い身体で 欲深く すぐに怒り
 いつもうるさく騒ぎ立てる

一日にたくさんの残飯を出し
 たくさんのお菓子を食べ
 あらゆることを自分中心に考え
 人の話は聞かず 理解しようともせず
 そして すぐに忘れてしまう

テレビや携帯のある自分の部屋にこもっては
 東に病気の子どもがいても
 か弱いそうねと言うだけで
 西に疲れた母がいても
 気づかないふりをする

南に死にそうな人がいても
 関係のない人だと言いつつ
 北に喧嘩や争い事があると
 興味津々に眺めている

失敗すると当たり散らすし
 うまくいかぬとほっぽり出す
 皆をテクノボーとののしるくせに
 褒められたがり
 そして 皆から嫌われる

そういう者に あなたは なりたいか

